

## ◆Enet-HDLC-RoHS F/W Ver3.0S 2022/08/29 の機能について記述する

## 1) Ver3.0S は、以下の設定を追加している

プログラムモードにて

DISC=E+CRLF と設定するとプログラムモード表示が以下画像となり DISC=E が表示される。また DISC=E の状態でプログラムモード設定を保存終了し再起動すると本機能が有効となる。

DISC=D+CRLF と設定すると DISC=D が未表示となり DISC=D の状態でプログラムモード設定を保存終了し再起動すると本機能も停止される。

工場出荷時の値は、DISC=D であり未表示である。

無題 - TermWin

ファイル(F) 送受信(N) 表示(V) 設定(S) ヘルプ(H)

```
*** PROGRAM MODE ***

*** PROGRAM 1/3 ***
Enet-H Ver3.0S/422 2022/08/29 ROM VERSION
TCLK=1 TX CLK SELECT[1:ST1 or 2:ST2]
B=9600 BPS[2400/4800/9600/19200/38400/76800/153600
        7200/14400/28800/57600/115200/48000/64000]
CRC=16 CRC SELECT[16 or 32]
EF=0 DATA ENCODING FORMAT[0:NRZ or 1:NRZI]
MA=01 MY ADDRESS[01-FE 8bit ONLY]
YA=03 YOU ADDRESS[01-FE 8bit ONLY]
T1= 2.00 RESPONCE TIMER[99.99sec]
N2= 5 RETRY COUNTER[1-20]
T2= 1.00 TX RR RESPONCE TIMER[99.99sec]
T4= 3.00 FOR REMOTE CHANNEL BUSY TIMER[99.99sec]
OC=1 OUT STANDING COUNTER[1-7]
DM=D POWER ON DM SEND[E/D]
FLG=D FLAG SEND[E/D]
DISC=E Send DISC after retransmission timeout[E/D]
```

## 2) DISC=E 設定時の動作について

- ・ Enet-HDLC-RoHS から相手 HDLC 機器へ督促 RR コマンドを送信時に相手より正しい応答が無い場合、RR 督促コマンドを N2= で設定回数分 T1= 設定間隔で再送します。

再送回数終了後、DISC=E の場合、1 度のみ DISC コマンドを送信してから接続状態である TCP/IP を切断し TCP/IP 及び HDLC を CLOSE 状態とします。

※DISC=D 設定時は、従来の仕様動作通り RR 督促コマンド再送終了後に TCP/IP をリセットし TCP/IP 及び HDLC を CLOSE 状態とします。(DISC は送信しません。)

※プログラムモードにて DEFAULT コマンドを送信すると DISC=D となります。